



NIWato

HIMEJI GARDEN ATELIER

外構の予算は、

何に・どの順番で使うのか

400万円・500万円・600万円。それぞれで何ができるかを、モデルケースで。

はじめに

外構の見積りは、家の打ち合わせの終盤に出てきます。

間取りが決まり、設備を選び、建物の金額が固まったころ。「外構は別途で、これくらいです」。そのころには、使えるお金が残っていません。

この冊子は、価格表ではありません。

敷地と建物によって、外構の金額は大きく変わります。だから「いくらかかるか」よりも「何に、どの順番でお金を使うか」をお話しします。

ただ、目安が無いと考えられないのも本当です。後半に、400万円・500万円・600万円のモデルケースを用意しました。

庭の予算は、家と一緒に決める。

そのための考え方を、順番にお伝えします。

NIWAtO 本田 準一



第1章 なぜ外構に予算が要るのか

「外構は100万円くらいで」。家づくりを始めたばかりの方から、よく聞く数字です。

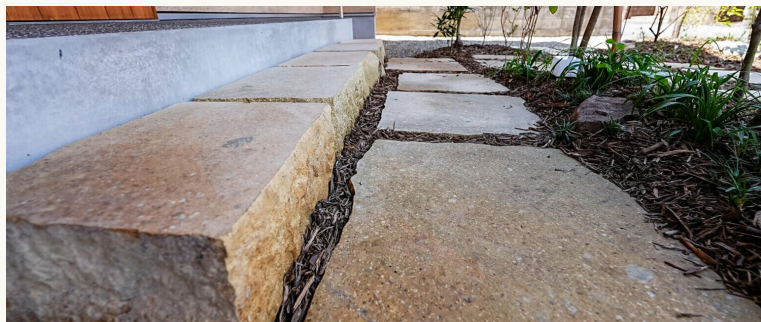
その金額で何ができて、何ができないのか。まず、外構に何が含まれているかを知るところから始めます。

外構に含まれるもの

ひとつの敷地に、これだけのものが入ります。

1. 駐車場 土間、目地、車止め。面積で費用が変わります
2. アプローチ 門から玄関まで。石、飛び石、階段
3. 境界 隣地・道路との境。ブロック、フェンス、生垣
4. 土工事 掘る、盛る、残土を運ぶ。目に見えないところ
5. 植栽 木、下草、芝。植える土の入れ替えも
6. 照明 器具と配線
7. 門まわり 表札、ポスト、インターホン
8. デッキ・テラス 外で過ごす床
9. 庭 主庭、坪庭、菜園

「外構100万円」で入るのは、このうち1と3の一部です。



5

見えないところにかかるお金

見積りで驚かれるのは、たいてい目に見えない項目です。

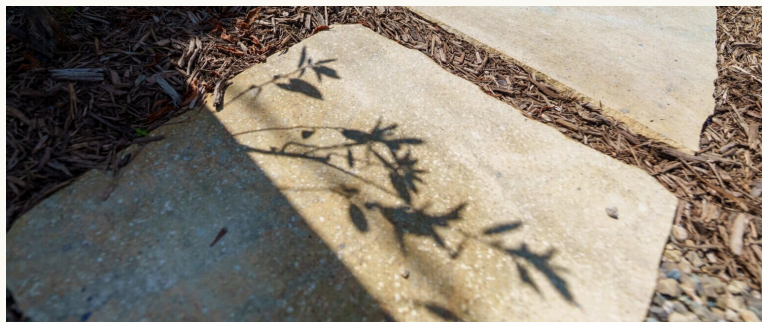
土工事、土留め、残土の処分。完成すれば地面の下に隠れて、写真には写りません。

この費用を大きく左右するのが、敷地と道路の高低差です。

道路より高い敷地なら階段と土留めが要り、低ければ雨水の処理が要ります。建物の高さ(GL)を決める段階で外構の高さも一緒に決めておくと、この費用は最小に抑えられます。

見えないところにお金がかかるのは、避けられません。

ただ、いつ決めるかで、金額は変わります。



6

素材でかかるお金

石、木、左官。NIWAtoが使う素材は、既製品より手間がかかります。

石は一つずつ据え、木は一枚ずつ張り、左官は職人が塗ります。工場で作られたフェンスや門柱を並べるより、時間も費用もかかります。

それでも素材を選ぶ理由は、歳の取り方です。

竜山石は雨に濡れると色が深くなり、サイプレスのデッキは無塗装で銀色に変わっていきます。既製品は新品の日が一番きれいで、素材は数年後が一番きれいになります。

素材にかかるお金は、長く住む家のためのお金です。

第2章 お金をかける順番

「植栽に何割、駐車場に何割」という配分は、この冊子には書きません。

敷地の形、高低差、建物の向きで、必要なものが変わるからです。

その代わり、順番をお伝えします。

外構の予算を、三つの層に分けて考えます。



8

一層目 機能に必要なお金

駐車場、玄関までの動線、境界。

これが無いと、暮らせません。最初に確保する予算です。

ここで大切なのは、「必要な分だけ」にすることです。

駐車場の土間を敷地いっぱいに広げれば、費用は面積ぶん増え、夏は暑く、雨水の逃げ場も減ります。車が実際に動く範囲だけを土間にし、残りを砂利や植栽にする。機能の層を絞るほど、次の層に予算が回ります。



9

二層目 家を美しく見せるお金

素材、植栽、照明。

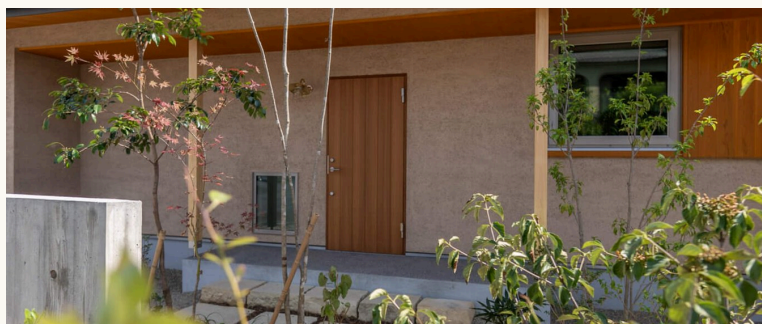
建物の完成度を、そのまま外に延ばすための予算です。

家の外壁が左官なら、外構の壁も左官に。家に木が使われているなら、デッキやフェンスも木に。建物と外構で素材をそろえると、家は一回り大きく、落ち着いて見えます。

植栽は、建物の硬さを和らげます。照明は、夜の外観をつくりま

す。

この層を削ると、建物まで安く見える。その理由は第3章でお話しします。



10

三層目 暮らしを豊かにするお金

デッキ、テラス、外リビング、菜園。

外で過ごす時間のための予算です。

ここは、用途が決まっているものだけに使います。

「デッキは付けたい」だけでは、物干しと物置になります。「週末に外で朝食をとる」「子どもを裸足で遊ばせる」が決まっていれば、広さも向きも、床の材料も決まります。

三つの層の順番は、一層目、二層目、三層目。

ただし、三層目の用途が決まっている家ほど、一層目と二層目の設計も決めやすくなります。

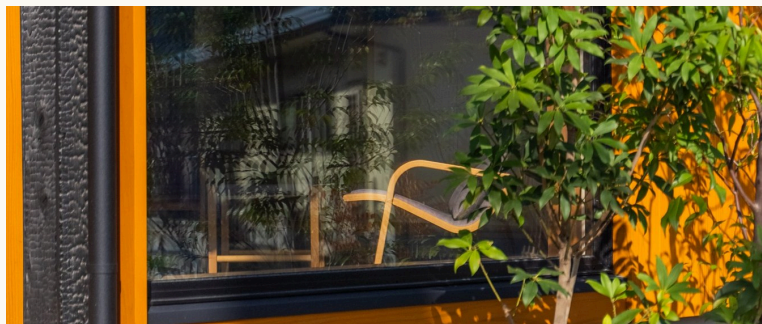


11

第3章 削ってはいけないもの、増やしても安くないもの

予算が足りないとき、何から削るか。

削る順番を間違えると、建物まで安く見えてしまいます。



12

植栽に予算を残す意味

植栽は、飾りではありません。ひとつの木に、五つの役割があります。

1. 建物を美しく見せる 硬い外壁に、柔らかい影を落とします
2. 視線を遮る フェンスより低く、フェンスより自然に
3. 窓からの景色をつくる リビングの窓の正面に、一本
4. 季節を感じる 新緑、紅葉、落葉。家の中から季節が分かります
5. 外構の硬さを和らげる 石も土間も、緑があって落ち着きます

植栽を削ると、この五つを一度に失います。

だから私たちは、植栽の予算を最後まで残します。



13

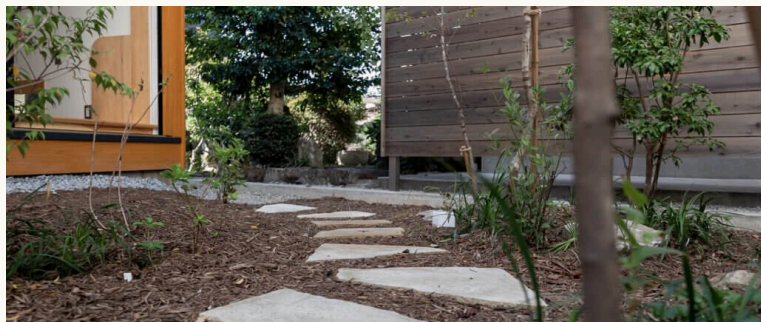
照明を削りすぎない / コンクリートを増やせば安いわけではない

照明

夜の外観、防犯、アプローチの安全。外の照明は三つの仕事をします。玄関灯だけにすると、夜の家は真っ暗な箱になります。器具の数は少なくてもいい。ただ、配線は建物と一緒に仕込んでおきます。

コンクリート

「全面コンクリートにすれば手入れも要らず、費用も抑えられる」。そう考える方は多いのですが、土間は面積で費用が決まります。広げるほど高くなり、夏の照り返しと、雨水の逃げ場の問題も増えます。車の動く範囲だけを土間にするのが、合理的です。



14

カーポートを積極的に勧めない理由

カーポートを否定しているのではありません。

雨の日の乗り降り、車の保護。必要な理由は分かります。

それでも積極的に勧めないのは、こういうことが起きるからです。

建物の正面を、屋根が大きく覆ってしまう。家より先に、カーポートが目に入る。庭や植栽のための場所が減る。建物と調和しない既製品を置くことで、せっかくの外観が崩れる。

必要なら、設計します。

建物の色と素材に合わせ、位置を考え、場合によっては造作します。「必要かどうか」と「どう見えるか」を、同時に考えるのがNIWAtοのやり方です。



15

外構費を削りすぎると、建物まで安く見える理由

建物は、単体で完成しません。

どれだけ丁寧に設計された家でも、外が「駐車場の土間だけ」「砂利だけ」「植栽なし」「境界フェンスだけ」だと、家全体の印象が変わります。

人が家を見るとき、建物と外構を分けて見ることはありません。道路から見える景色の半分は、外構です。その半分以上を削ると、残りの半分の価値も下がります。

だから、外構の予算は「削れる分」ではなく「家の一部」として考えます。

第4章 モデルケース

ここからは、同じ敷地、同じ家を想定して、予算が100万円ずつ変わると何が変わるかをお見せします。

あくまでモデルケースです。敷地と建物によって中身は変わります。「何を優先し、何を後回しにするか」の考え方として読んでください。



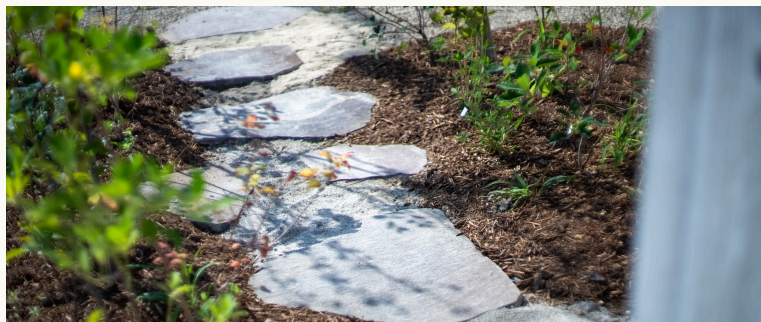
17

400万円 家の顔と骨格

まず、家の顔をつくります。

- 門まわり(表札・ポスト・インターホンを植栽と壁に納める)
- 自然石や飛び石を使ったアプローチ
- 目隠し(視線が通る一点に木と低い壁)
- 高木、中木、低木を利用した植栽計画(育った姿で配置)
- 照明計画(配線を建物と一緒に。器具は最小限)

駐車場と庭そのものは、この段階では入りません。ただし、後から足せるように、配管と配線はここで入れておきます。



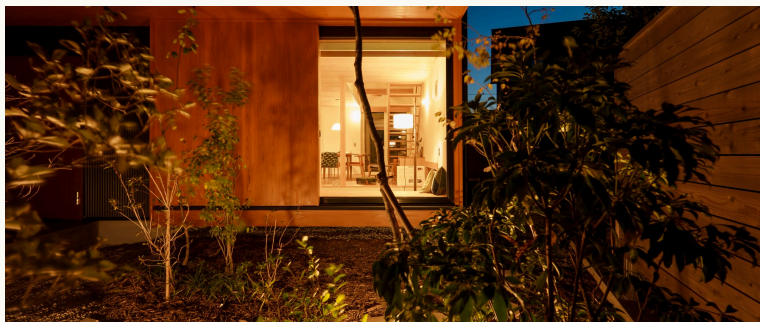
18

500万円 石をふんだんに使った自然な庭づくり

増えた100万円を、石と庭に使います。

- 自然石をふんだんに使った主庭(石積み・石畳・飛び石を、リビングの窓の正面に)
- デッキまたはテラス(室内の床とそろえた高さ)
- 駐車場(土間の割り方と目地、車止めまで造作)

この段階から、リビングの窓を開けて暮らせる家になります。



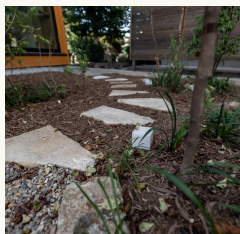
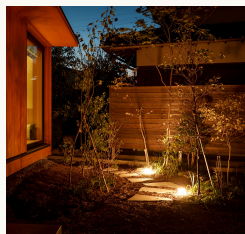
19

600万円 庭で遊べるファイヤーピット

さらに100万円で、外で過ごす時間をつくれます。

- 庭で遊べるファイヤーピット(火を囲む場所を、石で囲える)
- 外リビングや菜園(用途が決まっている場合のみ)
- 植栽の充実(下草、季節の木)
- 石や左官の造作を増やす(石段、左官の壁)

ここまで来ると、庭は「眺めるもの」から「暮らす場所」になります。



20

第5章 事例の費用帯

NIWAtoの事例を、費用の帯でご紹介します。

ふたつ庭の家(姫路市・2025) 約380万円

主庭と副庭。歩くと景色が変わるアプローチと、芝の庭。

柔光の棲家(姫路市網干区・2025) 約460万円

光と植栽。窓の正面に景色をつくった庭。

外繋がりのお庭(姫路市・2026) 約350万円

室内と庭がひと続き。編み込みのフェンスと灯りでつないだ庭。

建物はクオホームではありません。

※ 金額はいずれも税抜、2026年8月時点の単価に換算したものです。

詳しくは niwato.com の Works へ。



21

段階施工という考え方

予算が足りないとき、削るのではなく、分ける方法があります。

初年度は骨格をつくる。アプローチ、駐車場、そして配管と配線。

翌年以降に、植栽とデッキを足す。

順番だけ間違えなければ、庭は育てていきます。

ただし、土の中のもの(配管・配線・土工事)は初年度に入れておくこと。後から掘り返すと、費用は二重になります。



22

おわりに

外構の予算は、金額の大小より、いつ決めるかで結果が変わります。

建物の配置図や平面図があれば、予算をどこに置くべきか、いまの段階でお話しできます。建てる会社が決まっている方も、これから決める方も、図面を持ってお越しください。

見学・相談のご案内

niwato.com/contact

NIWAtO 姫路市飾磨区上野田3-69-2 TEL 079-280-2780

他の2冊のご案内

失敗編 家が完成してからでは遅い 新築前に確認したい「庭と外構 15のチェックリスト」

打ち合わせの終盤に「外構は別で」と言われる前に。

デザイン編 外構で家はここまで変わる 美しく見える庭と外構 7つの設計ルール

素材を減らし、全部を見せず、夜まで考える。

奥付

外構の予算は、何に・どの順番で使うのか

2026年 第1版

発行 NIWAtO(運営事業:クオホーム)

姫路市飾磨区上野田3-69-2

本冊子の内容・写真の無断転載を禁じます。